

HIV 薬剤耐性に関するトレーニングワークショップはもう第 4 回！
(2023 年 3 月 3 日)

本プロジェクトは「科学技術協力」の枠組み/スキームにより実施される国際協力で、共同研究の成果による途上国の社会問題解決を目指すものです。ただそういった共同研究の枠組みの中でも、JICA が実施するプロジェクトとしては相手国への技術協力の要素はとて重要です。新型コロナウイルス感染症の影響で中断していた期間を経て、再開した HIV 薬剤耐性トレーニングワークショップも、ハノイで、そして一度は東京で実施して、今回で 4 回目を数えることになりました。

第 4 回になった今回は徐々に入門編から応用編へとレベルアップしていくということで、座学での学びに加え、具体的なケース・症例を想定してのグループワーク、発表などにもチャレンジしました。処方された薬を飲み続けられない感染者の背景には、それぞれに様々な要因があります。如何に服薬アドヒアランス不良に関連する要因を理解し支援するか、それでも出現した薬剤耐性にはどう対応すべきか、などなどテーマは多岐にわたります。最初はやや硬い感じもありましたが、ファシリテーターの助けもあり、話し始めてみると現場での悩みや工夫がたくさん出てきました。参加した日本人医師が「皆さんの現場での努力と患者さんへの思いが伝わってくる」と話したとおり、多くの試行錯誤がなされていることがわかりました。



グループに分かれての議論は、具体的なベトナム・日本の症例を踏まえたケース。



グループワーク後には岡先生の総括。各講義に関してミニテストも実施しましたが、皆さん正解できたかな？

前回 35 号でも書きました通り、現在プロジェクトでは同じく薬剤耐性 HIV ウイルスへの対応に向けた Knowledge Book 作成を進めています。いよいよ 4 月に迫ったプロジェクト最

終年度では、Knowledge Book 作りとこういったトレーニングを組み合わせ、Knowledge Book でドラフトしていく内容をトレーニングに還元し、そこでトレーニング参加者から上がった意見を更に Knowledge Book 完成に向けて反映させていく、そういった活動相互での関連も意識して実施していきたいと思えます。



最後は皆で記念撮影。内容も参加者のネットワークも、更にグレードアップしていきたいですね♪